

平成22年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時：平成22年8月18日（水） 18:00～19:45

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：8名

出席者：5名

宮里 浩（那覇市立病院）、佐村 博範（琉大病院）、国吉 秀樹（中央保健所）

増田 昌人（琉大病院） 仲本 奈々（琉大病院）

陪席者：呉屋 葉子（琉大病院がんセンター）

[報告事項]

1. 平成22年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨（資料1）
 - 平成22年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨が承認された。
2. 5大がん地域連携パス事業の申し込み状況について（資料2）
 - 2010年8月18日現在で、専門施設が13施設、かかりつけ施設が42施設と報告があった。

[協議事項]

1. 平成22年度地域ネットワーク部会事業計画について（資料3）
 - (1) 沖縄県がん診療連携協議会のホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載し共有する。
また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。
 - 参加医療機関の一覧はすでに掲載しており、ワーキンググループの活動報告については、毎回の議事要旨を掲載することに決定した。
 - (2) 5大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。
 - 前立腺がんの地域連携パスの作成を進めていくことが承認された。
 - (3) 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。
 - 第11回日本クリニカルパス学会学術集会、沖縄県公衆衛生学会、沖縄県医学会で報告することが決定した。
2. 5大がん地域連携クリティカルパス研修会について（資料4）
 - (1) 5大がん地域連携クリティカルパスを運用するためには専門施設で開始する必要があるため10回の研修会の内4回は各施設（琉大、那覇市立、中部病院、医師会病院）で院内研修を行ってはどうか？
 - 日程などの調整は必要だが、4回は各施設（琉大、那覇市立、中部病院、医師会病院）で院内研修を行うことが承認された。
 - (2) それ以降の研修会については各専門施設で行ってはどうか？
 - 次回の5大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキングの議題にすることが承認された。
3. 送り出し患者を増加させる方法について（資料5）

広報として、8月18日に協力医療機関の募集と研究会について沖縄県医師会のホームページに載せたことが報告された。パスの適用患者を増加させるため、欠席者に確認して平成22年10月31日までに各施設10名に連携パスを適用することを目標とすることが承認された。また、各担当医が個別にアプローチして連携している施設に案内したり、連携室と連携して各施設から広報する（広報誌に載せるなど）ことが検討された。その他についてはワーキンググループで意見を頂くことが承認された。
4. 平成22年度第2回5大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキンググループ（議題調整用）（資料6）
 - ・本日の部会で承認されたことの報告。
 - ・研修会の事について、地区医師会の先生方から要望を求める。
 - ・次回の開催については、平成22年12月1日（水）平成22年度第2回5大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキングを行うことが承認された。